



2011年度社団法人尾道青年会議所テーマ

「若い力」—ロックンロールで行こう—

社団法人尾道青年会議所
〒722-0035 尾道市土堂2-10-3
尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110
FAX:0848-20-1112
ojc@urban.ne.jp

2011年11月号



10月例会

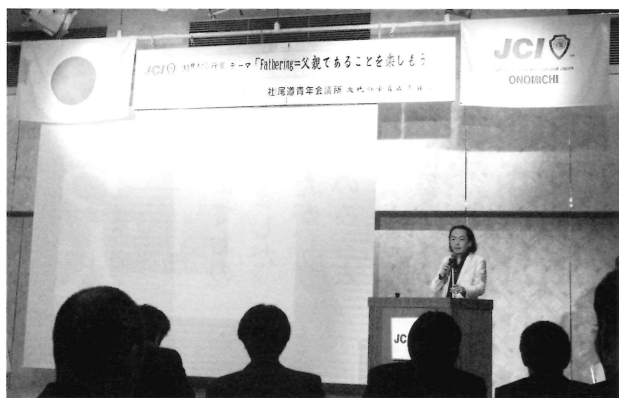
「Fathering=父親であることを楽しむもう」

10月17日(月)、尾道国際ホテルにて10月例会を開催いたしました。10月例会では「Fathering=父親であることを楽しむもう」と題して、NPO法人Fathering Japan代表理事の安藤哲也さんを講師としてお招きし、父親の育児参加の重要性と楽しんで取り組む育児の社会に及ぼす効果についてお話をいただき、父親として、そして未来の父親として青年会議所メンバーに育児について考えるきっかけとなる例会を目指しました。



私たちがまだ子供のころ、母親が専業主婦で育児に關しては母親の仕事といった家庭が多かったと思います。しかし近年、社会環境の変化に伴い、女性が社会へ進出するこ

とはもはや当たり前になっており、そして経済環境の変化により共働きの家庭が増えたことで育児に取組む父親が増えてきています。しかし、現在の父親世代は自らの父親に育てられたという経験が少なく、何をすべきかいまいかわからないというのが現状だそうです。安藤先生の所に相談に訪れる父親も多く、育児をする男性、いわゆるイクメンに向けたイクメン雑誌の売り上げも伸びているそうです。そうした中で安藤先生の提唱される「Fathering」とは、父親の直接的な育児を指すのではなく、夫から妻へ、そして子供へと間接的な育児を重視することだと伺いました。



つまり妻を支えることで子供の育児へつなげることです。それは私たちが子供のころの父親の役割と同じことではあります。現在の環境に合わせた支え方をしていく必要があるのだと感じました。その中には直接的な育児も含まれるであろうし、とにかく育児に対する知識や関心を深めていくことが重要なのだと思いました。

が、今後に向けて育児をよく知り、育児をされる先輩方を参考にさせていいただきたいながら「Fathering」を勉強しようと思えます。また、会社の中でも育児をしている従業員がいます。そうした従業員に「Fathering」ができる環境を整えていくことも自分の務めであると気づかされました。こうしたことはなかなか考える機会がありませんでしたので、良いきっかけになりました。



●今月のオススメ映画

『東京物語』

監督・脚本 小津安二郎
出演 笠智衆、東山千栄子、原節子
公開期間 12月3日～12月7日

尾道と東京が舞台の「東京物語」。登場人物たちの機微、ゆっくりと流れる時間。60年経っても色あせることのない、日本映画史屈指の名作です。

この作品を作るにあたって、監督の小津安二郎氏は「親と子の成長を通じて、日本の家族制度がどう崩壊するか描きたかった」と語っています。1953年戦後間もない当時、まだ高度経済成長や核家族といった表現がなされていない頃の作品。庶民の生活をリアルに描く作風は、当時世間で批評を受けたとも言われていますが、小津監督は、生涯「撮りたいものしか撮らない」という思いで、戦前から戦後にかけて多くの映画を撮り続けました。「東京物語」で描く家族の在り方。今を生きる我々へのメッセージなのかもしれません。

そんな「東京物語」が人生の分岐点になったと語る、脳科学者・茂木健一郎氏。彼の脳科学的視点からの「東京物語」も、ぜひ楽しみにお聞きいただきたいと思います。尾道経済活性化委員会 河本 清順



©松竹

会場・お問合わせ シネマ尾道
住所 尾道市東御所町6-2
TEL 0848-24-8222
HP <http://www.cinema-onomichi.cc>

●シネマ尾道イベント情報

小津安二郎監督特集特別企画 脳科学者・茂木健一郎講演会「東京物語と尾道」

日時 12月6日(火) 19:00～

脳科学者・茂木健一郎氏
「東京物語」を熱く語る!



●シネマ尾道上映スケジュール

11/19(土)～11/25(金)	11/26(土)～12/2(金)	12/3(土)～12/7(水)
大地の詩—留岡幸助物語— 10:00～/18:30～	朱花の月 10:00～/20:35～ 海洋天堂 11:50～/18:45～	小津安二郎監督特集 東京物語 秋刀魚の味 麦秋 彼岸花
エッセンシャル・キリング 16:35～ 蜂蜜 12:25～/20:40～	ミスター・ノーバディ 13:45～ ペーパーバード 幸せは翼にのって 16:20～	
ペーパーバード 幸せは翼にのって 14:15～		

*上映時間は日替わり

10月15、16日、久保亀山八幡宮恒例の秋の大祭が開催され、尾道JCメンバーも15日の前夜祭に神輿の担ぎ手として参加させていただきました。午後6時から午後9時まで大人神輿と子供神輿により久保町内を巡幸しました。その途上では大人神輿をJCメンバーだけで担がせていただくという場面もありました。昔から「踊る阿呆に見る阿呆 同じ阿呆なら踊らにヤソソソ」といいますが、こうして踊る側として祭りに参加することは本当に貴重な経験だと改めて感じます。神社の境内では多くの参拝客が神輿の帰りを待ち、最後は全員で盛り上がりました。



11月に入り気候もいよいよ冬に向けて寒くなってきました。体調を崩しやすい時期でございますので、皆様くれぐれもお体にはご自愛ください。年の瀬も近づき、来年に向けた目標を考え出す時期ですが、私のとりあえずの目標は下手くそなゴルフを何とか人並みに近づけること。人の倍のスコアをたたくので正直疲れてしまいます。楽しいゴルフがしたいものです。JC活動でも今年はセクレタリーをさせていただきましたが、今年の経験を踏まえ、もっと心配りのできる人間へと成長したいと思えます。今年も残すところあと1月半です。皆様、ラストスパートで精一杯楽しみましょう。セクレタリー 安楽城 大作

訃報

去る平成23年7月24日社団法人呉青年会議所別名誉会員の増岡博之先輩がお亡くなりになり別れの会が10月17日に行われました。昭和32年に尾道青年会議所が設立された際、当青年会議所の設立に中心となり多大なる添えを頂きました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

卒業生スピーチ



10月、11月の合同委員会にて、今年度卒業される上田浩史君、岸上幸由君、前川佳洋君、増田泰志君、三坂統之君、山本圭志君に卒業生スピーチをしていただき、これまでのJ.C生活を振り返る中での思い出話や現役メンバーへのメッセージをお話しされました。

卒業生スピーチに伴い皆様方の経歴をご紹介させていただくに当たり感じたことは、皆様本当に経歴が長いということです。特に岸上君のJ.C歴は17年という事で私が小学生の頃より尾道にたいしてご奉仕されていた

ことを考えると、改めて敬意を感じました。

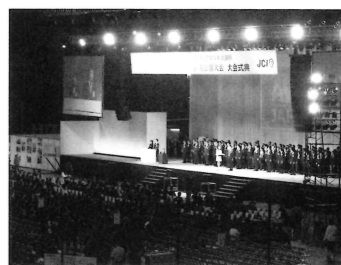
それぞれの思い出やメッセージをスピーチの中で語られるなかで皆様に共通していたのは、最初はJ.Cに対して違和感をもっていたけれど、歴を重ねて友情を育んでいけるなかでそれぞれ目標なり生きがいを見つけたことでした。そうした経験は今後にとつてもかけがえのないものになるだろうと思います。私も皆様に習い、J.Cを続けていく中で何かしらの財産を見つけていきたいと感じました。



第60回全国会員大会 名古屋大会



翌日、名古屋ドームにて多くの子ども達による合唱により大会式典が始まりました。続いて愛知県の大村知事、名古屋市の河村市長、J.C I会頭の原田憲太郎君よりご祝辞を頂き、日本青年会議所福井会頭によるメイ



大と名古屋にて第60回全国大会に参加してまいりました。1日にはセミナーやメインフォーラムに参加し、その後日本青年会議所60周年の記念式典・祝賀会にも参加させていただきました。その夜には全国大会恒例のLOMナイトを世界の山ちゃんにて開催しました。そのなかで本年度の事務局から次年度の事務局へのカバンを引き継ぎや今年度卒業される卒業生の方々からメンバーへメッセージをいただきました。



参加されたメンバーの方々、お疲れ様でした。そして卒業生の方々、誠に改めてとうございます。

その後、2012年度会頭候補者として井川君が紹介され次年度に向けたスピーチ、そして歴代会頭によりプレゼンテーションが井川君から行われました。また、来年度の全国大会が九州にて開催されることも発表されました。その後の卒業式典では、全国大会の映像が流れ、その後青年会議所へのエールとしてコンサートが大盛況のもと行われました。卒業生答辞として橋本副会頭より心に響く言葉が述べられ、会場全体を感謝の気持ちで埋め尽くしました。

ベツチャー祭り

11月1〜3日、ベツチャー祭りが開催されました。尾道青年会議所からは例年通り1日、3日の練り歩きに神輿と太鼓の担ぎ手、こども太鼓の伴走係として多数参加しました。

まず1日には、祈禱を終え午後6時に一宮神社を出発し、「ヨッサ、ヨッサ」の掛け声とともに商店街、海岸通り、新涯と練り歩きしました。

そしてメインの練り歩きとなる3日は午前8時前に商店街をスタート。ベタ・ソバ・シヨキ、そしてシシとともに栗原本通り、天満町、西御所町と続き、昼前にしまなみ交流館前広場に到着しました。そこで広場に集まった観衆の前でベツチャー太鼓を披露され、午後からは海岸通り、商店街と練り歩き、その後長江通り、久保町、そして商店街へと練り歩きました。フィナーレの

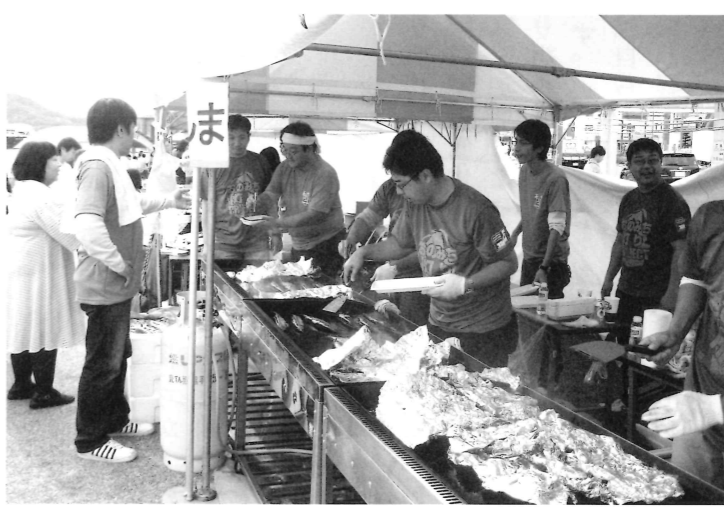


一宮神社の境内へ向けた階段の駆け上がりと境内での神輿を回す様子は本当に圧巻でした。特に午後からは本場に多くの観衆で、ベツチャー祭りの醍醐味である太鼓の音、担ぎ手の掛け声、そして子供の泣き声が絡み合い本当ににぎやかで心に残りましたし、肩の痛み・足の筋肉痛という形で体にも思い出が刻み込まれました。

社会開発委員会の皆様、そして参加されたメンバーの皆様、大変お疲れ様でした。



10月22日、23日に尾道駅前にておのみち大てつぱん博が開催されました。去年に引き続き開催でしたが、今年も大盛況となりました。おのみち大てつぱん博を終え、尾道J.Cより設置を担当された尾道経済活性化委員会小林委員長よりメッセージをいただきました。



「おのみち大てつぱん博」において、秋刀魚1000匹を完売することが出来ました。今回は東北の被災地を食べべて応援しよう！のコンセプトのもとに東北の物産展や募金ブースなどの運営

を尾道青年会議所として担当させて頂きました。多くのお客様とお手伝いして



への導線がもつと必要だった事です。ご来場いただいた皆様、来年はもっと良い企画になると思いますのでよろしくお願ひします！

尾道経済活性化委員会
委員長 小林輝久

くれた仲間感謝しています。やってみて解った事ですが、商品を販売するにかなりの力(商品知識、技術、勢い)を必要とするという事です。自分としての反省は物産展と募金ブース